

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 9 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・11/8 2:20 水処理設備淡水化装置内の蒸発濃縮装置用のボイラーにおいて、ボイラーの給水タンクの水位低下を知らせる警報が発生したため、2:24 にボイラーを手動停止。その後、2:28 に蒸発濃縮装置3B、2:31 に蒸発濃縮装置3Cをそれぞれ停止。なお、蒸発濃縮装置が全台停止したものの、淡水化装置(逆浸透膜型)による淡水化処理および原子炉への注水は継続中。
その後、ボイラー補給水移送ポンプ(A)および(B)の吸込ストレーナを確認したところ、配管等の内部に付着していたろ過水の水垢等による詰まりが確認されたことから、それらを取り除いた上で、17:08 に蒸発濃縮装置3B、18:01 に蒸発濃縮装置3Cをそれぞれ再起動。今後、適宜、当該装置を停止し、ストレーナ清掃を実施しながら運用していく予定。
- ・11/8 16:23 セシウム吸着処理水移送ポンプ(B)のモータに異音が確認されたことから、セシウム吸着装置を停止。その後、同ポンプ(A)へ切り替え、16:54 に再起動し、17:00 に定常流量(約 18m/h)へ到達。今後、原因調査を実施予定。

[貯蔵設備]

- ・6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/4 9:38 ~ 11/8 15:00 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/2 10:11 ~ 11/8 15:05 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・11/9 10:00 ~ 16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (11/9 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,127 mm(水位上昇累計: 3,344 mm) 11/8 7:00 から 119 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,564 mm(水位上昇累計: 3,290 mm) 11/8 7:00 から 206 mm 下降

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/9 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850 mm (11/8 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,893 mm (11/8 7:00 から 43 mm 上昇)	O.P.+ 4,549 mm (11/8 7:00 から 22 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 3,055 mm (11/8 7:00 から 46 mm 上昇)	O.P.+ 3,069 mm (11/8 7:00 から 43 mm 上昇)	O.P.+ 3,153 mm (11/8 7:00 から 37 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,199 mm (11/8 7:00 から 5 mm 上昇)	O.P.+ 2,980 mm (11/8 7:00 から 33 mm 上昇)	O.P.+ 3,164 mm (11/8 7:00 から 28 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 2,979 mm (11/8 7:00 から 13 mm 下降)	O.P.+ 3,004 mm (11/8 7:00 から 12 mm 上昇)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	11/8	8:40	ND	0.05	0.06
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	11/8	8:15	ND	0.03	0.04
福島第二 3,4号機放水口付近	11/8	8:30	ND	0.02	0.02
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	11/8	8:05	ND	0.03	0.02
沼の内沖合約3km(上層)	11/7	6:50	ND	ND	0.01

・その他、11/7に採取した沖合5地点の海水における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (11/9 11:00時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	22.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	24.9
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	22.6
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	31

11/9 5:00時点(所内電源強化工事に伴い、温度計測機器が停止していることから、至近の採取データを記載)

[1号機]・11/9 5:43~ 所内電源強化工事に伴い、使用済燃料プール循環冷却システムを停止。

[2号機]・11/6~ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

・11/8 16:24~ 所内電源強化工事に伴い、使用済燃料プール放射性物質除去装置を停止。

・11/9 5:41~ 所内電源強化工事に伴い、使用済燃料プール循環冷却システムを停止。

[4号機]・8/20~ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

<原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (11/9 11:00時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約7.8 m ³ /h)	40.8	41.8	121.4 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約3.0 m ³ /h,炉心スプレイ系:約7.2 m ³ /h)	67.8	71.4	115 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.9 m ³ /h,炉心スプレイ系:約7.9 m ³ /h)	61.8	70.7	101.5 kPaabs

[2号機]・11/9 14:10~16:30 格納容器ガス管理システムにおいてガスサンプリングを実施。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

<その他>

・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・11/9 9:22~12:55 大型クレーンによる3号機原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施。

以上